

## 2016 年度（第 19 回）

### 北海道ブロック現場実習実践研究セミナー

### 2016 年度 実習指導者フォローアップ研修

#### 実習スーパービジョンにおいて「自己決定」をどう教えるか

—自己決定を巡る論点の検討を通して—

ソーシャルワーク実践の重要な価値の中核は、「全ての人々が人間としての尊厳を有する」であり、その実践原則の中心にバイステックに代表される「自己決定」を措定してきました。特に、社会福祉実践の展開過程の中に「契約制度」を導入した事に端を発し、「権利・義務」関係の中にソーシャルワーク実践が組み込まれ、利用者を「判断し・決定できる自律性を保持した」個人として位置づけることを陶冶する技能としてソーシャルワークが展開・発展しています。

しかし、一方では「自己決定尊重」の原則に対して、様々な矛盾・課題が指摘されているのも事実です。自己決定や自律の文脈において極めて弱い存在で判断能力に課題を抱える知的・認知障害者に対する自律と支援の逆説的な関係性。現場における利用者の「人権」の代表格とされる「自己決定」の捉え方。「利用者の最善の利益実現」における「インフォームド・コンセント」と「パターナリズム」の正当性等枚挙にいとまがありません。

このような自己決定を巡る論点の未整備の混沌の中に実習生が現場実践に参加し、様々な「ディレンマ」を抱えて実習を展開しています。実習スーパービジョンにおいて「ディレンマ」をとりあげることが、ソーシャルワーク実践を充実させる上で重要な機会となります。実習指導の中核は実習スーパービジョンであり、実習指導者は古くて新しい課題である「自己決定」の概念整理と本質理解の努力が求められ、スーパービジョンの中で実習生に「語る・示す」ことが重要になります。

北海道ブロックでは 19 回目の現場実習実践研究セミナーで初めて「自己決定」をとりあげます。「措置から契約へ」というフレーズの中に位置づけられているソーシャルワーク実践の中に埋没されている「自己決定」に関する理論的フレームワークを探求することにより、このセミナーが実習教育を越えて、実践現場におけるソーシャルワーク実践に深みを与えることを期待します。

【主催】 公益社団法人北海道社会福祉士会

【日時】 2017年3月18日（土） 10:00～17:00（9:30受付開始）

【会場】 学校法人西野学園 札幌医学技術福祉歯科専門学校3階 講堂  
（札幌市中央区南5条西11丁目1289-5 石山通・国道230線沿い）

【対象】 社会福祉士実習指導者講習会を修了認定された方、相談援助実習を指導担当されている方及び今後予定されている方、養成校教員及び学生。

【参加定員】 50名

【申込方法】 受講料は前払いとなります。「第19回現場実習実践研修セミナー申込書」に必要事項記入の上、払込票控えを申込書に添付し、当会事務局までFAX（又は郵送）にてお申込み下さい。

【参加費】 会員：2,000円 非会員：3,000円 学生：無料  
※交流会に参加希望される方は参加費と合わせてお振込みください。

【振込先】 郵便振替口座：02720-3-64711  
名 義：公益社団法人 北海道社会福祉士会  
通 信 欄：受講する講座名称をご記入ください。

【締め切り】 2017年3月3日（火）

## 研修プログラム

2017年3月18日（土）

9:30～10:00	受付
10:00～10:05	開会の挨拶 …北海道社会福祉士会会長 高橋修一
10:05～12:00	<p>仮発題:「自己決定に関するソーシャルワーク教育と実習スーパービジョンに関する現状と課題」</p> <p>発題者①「養成校」の立場から:北海道医療大学 大友 芳恵          発題者②「実習指導者」の立場から:羊ヶ丘家庭支援センター 高木 真理          発題者③「実習指導者」の立場から:真栄病院 不動 宏平          発題者④「実習生」の立場から:北星学園大学社会福祉学部          福祉臨床学科4年 鈴木 里歩</p> <p style="text-align: right;">司会・進行:越石 全(札幌医学技術福祉歯科専門学校)</p>
12:00～13:00	休憩・昼食
13:00～15:00	<p>基調講演 ソーシャルワーク実践における「自己決定」の構造と機能          北星学園大学名誉教授 米本 秀仁          博士(社会福祉学) 鈴木 道代</p> <p>本講演は、研修趣旨に則り、利用者の「自己決定」をめぐる諸課題を概説する。以下の展開を想定している。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>①自己決定(権)の基礎づけとしての「人間の尊厳」概念とその論議 特に憲法上の位置づけと「パーソン論」の陥穽</li> <li>②「自己決定」と「自己決定権」の概念の差異と権利論的展開の意義 特に日常的行為と臨床実践における利用者主権</li> <li>③自己決定概念の理論的構成の諸課題 特にソーシャルワーク実践における自己決定に触れて</li> <li>④自己決定の特殊場合である「インフォームド・コンセント」の理論的構成と諸課題</li> <li>⑤自己決定の対極にある「パターナリズム」「他者決定:代理決定」の理論的構成と諸課題 特に代理決定における「家族」の位置づけに触れて</li> <li>⑥臨床実践における「自己決定支援」の理論と実態 特にイギリス The Mental Capacity Act 2005 の意義</li> <li>⑦「共同決定論」の理論的構成と諸課題</li> </ol>
15:00～15:15	休憩(質問紙回収)
15:15～16:15	<p>グループフリーディスカッション          コーディネーター:越石 全(札幌医学技術福祉歯科専門学校)</p>
16:15～16:45	<p>グループ報告・質疑応答          コメンテーター 米本 秀仁(北星学園大学名誉教授)からのコメント          コーディネーター:越石 全(札幌医学技術福祉歯科専門学校専任教員)</p>
16:45～17:00	総括
17:30～	交流会(希望者のみ)

※ セミナー終了後に交流会を予定します。参加希望者は申込書に記載願います。多数の参加をお待ちしています。

※ 昼食は各自でご用意下さい。校内・敷地内禁煙となります。

## 第19回現場実習実践研究セミナー申込書

氏名		連絡先	自宅・職場 (○をつけてください)
住所	〒 —		
電話	— —	FAX	— —
職場		・会員（会員番号） ・非会員 （○をつけてください）	
交流会の参加について	セミナー会場周辺で終了後より交流会を予定しています。実習指導者同志の貴重な交流の機会として、多くの方々が参加者されることを希望しています。参加される方は、右欄の参加希望に○をつけてください。 交流会費は3,500円を予定しています。		参加希望

### 【記入上のお願い】

- ・受講票の送付先については、郵便が確実に届くよう、地番、建物名や号室等まで御記入ください。

受領証貼り付け欄 郵便振替払込金受領証のコピーを貼り付けてください。	北海道社会福祉士会 記入欄
	受付番号
	入金確認
	入力確認

お問合せ先 公益社団法人 北海道社会福祉士会事務局（月曜日～金曜日 9:30～16:30）  
 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる 2.7 4階  
 TEL 011-213-1313 FAX 011-213-1314 E-mail: info@hokkaido-csw.or.jp

※ご記入いただきました内容につきましては研修のみに利用させていただきます。